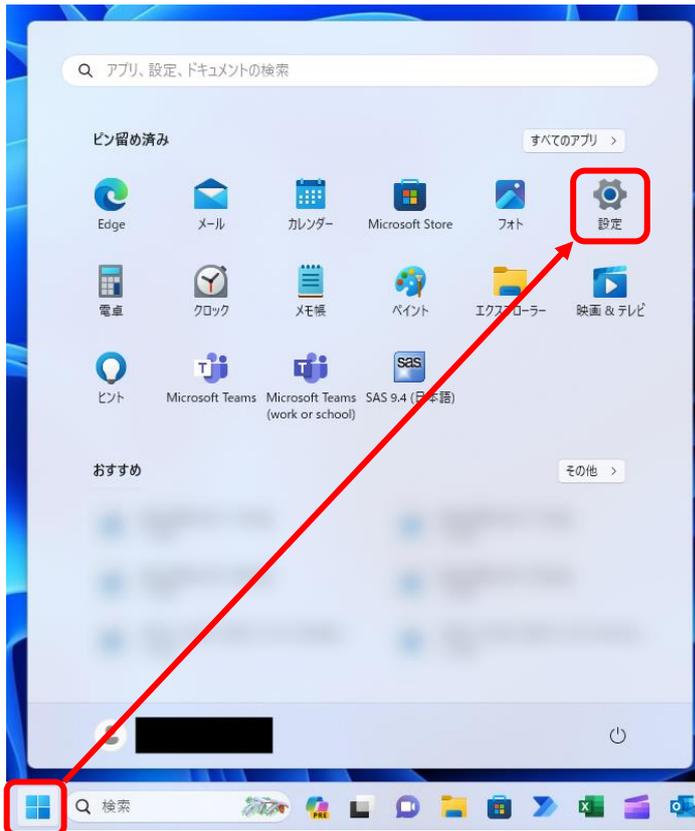


認証ゲートウェイ利用手順書

Windows11 編

1. 認証サービスの起動

(1) 画面下の「Windows」マークをクリックして、「設定」をクリックする。



(2) 「設定」を起動し以下の画面が表示されたら「イーサネット」をクリックする。



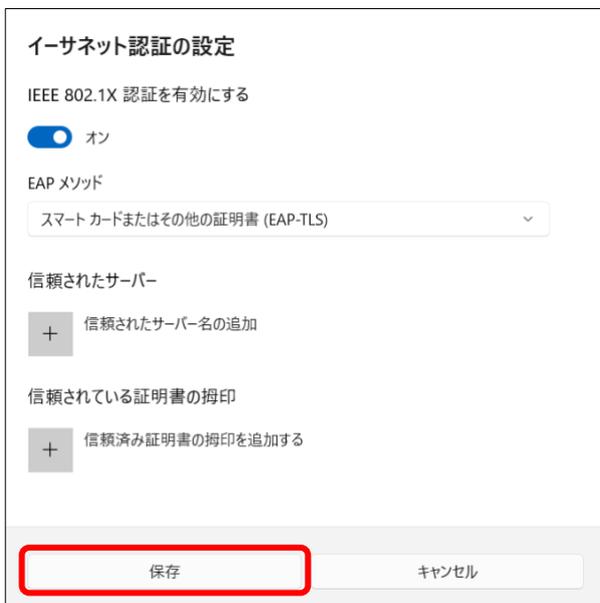
(3) 「イーサネット」の画面で、認証設定の「編集」をクリックする。



(4) IEEE802.1X 認証を有効にするを「オン」にして、「構成の編集」をクリックする。



(5) 「オン」になっているのを確認し、「保存」をクリックする。



2. TCP/IP の設定

(1) 設定画面の「ネットワークとインターネット」をクリックして、「ネットワークの詳細設定」をクリックする。



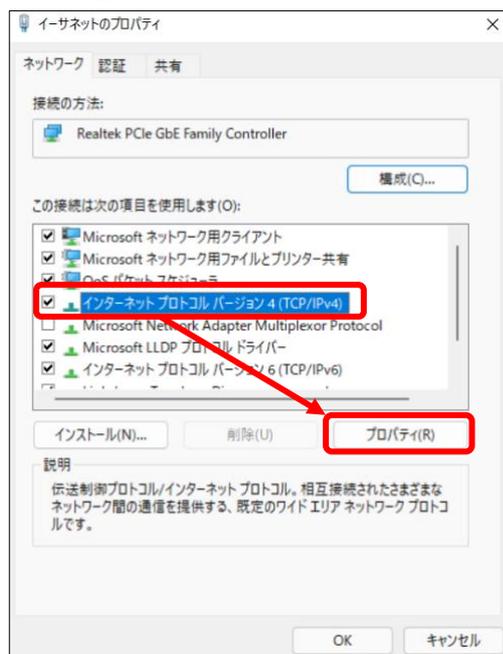
(2) ネットワークの詳細設定の「イーサネット」をクリックする。



(3) その他のアダプターオプションの「編集」をクリックする。



(4) 「イーサネットのプロパティ」画面で「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックする。

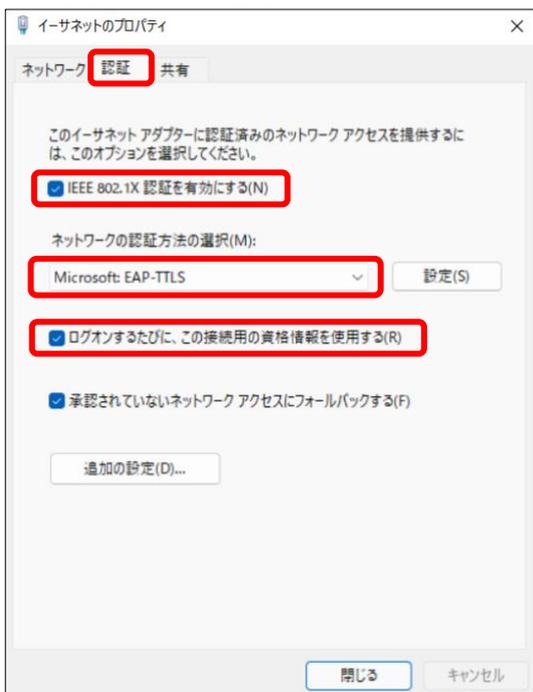


- (5) 「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4) のプロパティ」画面で次の設定を行い「OK」をクリックする。
- IP アドレスを自動的に取得する
 - DNS サーバのアドレスを自動的に取得する

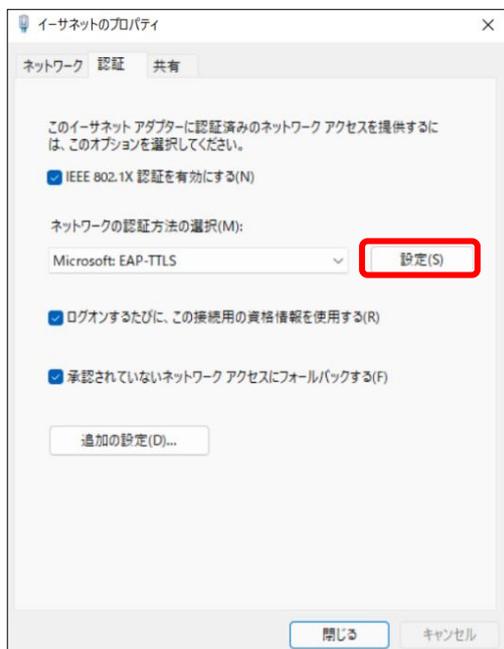


3. 認証の設定

- (1) 「イーサネットのプロパティ」画面で「認証」タブをクリックし、次の設定を行う。
- IEEE 802.1X 認証を有効にする：チェック
 - ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する：チェック
 - ネットワークの認証方法の選択：Microsoft: EAP-TTLS



(2) 「イーサネットのプロパティ」画面で「Microsoft: EAP-TTLS」の「設定」をクリック。



(3) 「TTLS のプロパティ」画面で「ID プライバシーを有効にする」のチェックを外す。
サーバ証明書の検証で「これらのサーバに接続欄」に「radius.auth.ehime-u.ac.jp」を入力し、
「信頼されたルート証明機関」のリストから「Security Communication RootCA2」を選択する。
クライアント認証で「認証に非 EAP メソッドを選択する」を選択し、更にリストから「暗号化されていないパスワード (PAP)」を選択する。選択後、「OK」をクリックする。



4. 接続及び認証

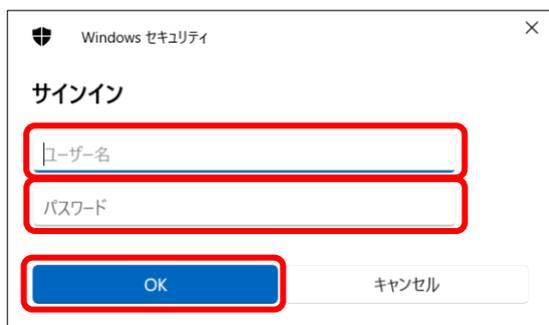
- (1) 他のウィンドウに隠れてしまうことがあるため、開いているウィンドウは全て閉じる。
- (2) 設定完了後、LAN ケーブルを接続すると、デスクトップ画面右下に「対応が必要です」画面が表示されるので、サインインをクリックする。



- (3) 「設定」の「イーサネット」画面が表示されるので、「サインイン」をクリックする。



- (4) サインイン画面が表示されるので、愛媛大学アカウントのユーザー名およびパスワードを入力し「OK」をクリックする。



(例) 愛媛大学アカウント

学生：a999999a

教職員：aidai.hanako.mj

- (5) 「設定」の「イーサネット」画面で「接続済み。サインイン済み」と表示されたら完了です。

